

景況調査（第104回 企業経営者の景気見通し）

三重県・愛知県主要業種の景気見通し

（2021年度下期実績見込み・2022年度上期見通し）

百五総合研究所では、半年ごとに三重県内及び愛知県内の主要業種の事業所の皆様に対し景気見通しのアンケート調査を実施し、結果をとりまとめています。

お忙しいなかご協力いただきました経営者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

なお、2016年度上期より、愛知県分の調査結果につきましては、三重県分とは別にとりまとめています。

[目次]

調査の概要	1
I. 三重県	
調査結果の要旨	2
1. 業況判断	3
2. 売上高	6
3. 販売数量・在庫量	8
4. 販売価格・仕入価格	9
5. 採算・資金繰り	10
6. 設備投資	11
7. 雇用	15
8. 賞与	16
9. 賃金改定	17
10. 経営上の問題	18
II. 愛知県	
愛知県内の景気見通し	19
III. 特別調査	
①売上高増減の状況について	24
②原材料価格高騰の影響等について	24
③半導体・部品・材料不足の影響等について	26
IV. 生の声	29

[調査の概要]

1. 調査対象：
 - ①三重県内の事業所 1,186 先 (回答 413 先/回答率 34.8%)
 - ②愛知県内の事業所 439 先 (回答 88 先/回答率 20.0%)
 - (合計調査対象数 1,625 先 (回答 501 先/回答率 30.8%))
2. 調査時期： 2022 年 1 月中旬～ 1 月下旬
3. 調査対象期間： 2021 年度下期 (21 年 10 月～22 年 3 月) 実績見込み (文中表記「今期」)
2022 年度上期 (22 年 4 月～9 月) 見通し (文中表記「来期」)
4. 調査方法： アンケート票送付及びwebアンケート
5. 回答状況

		三重県		愛知県		全回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
全企業		413	100.0%	88	100.0%	501	100.0%
規模別	大・中堅企業(資本金1億円以上)	50	12.1%	11	12.5%	61	12.2%
	中小企業(資本金1億円未満+個人事業)	363	87.9%	77	87.5%	440	87.8%
業種別	製造業	153	37.0%	34	38.6%	187	37.3%
	食料品(飲料含む)	27	6.5%	3	3.4%	30	6.0%
	繊維	6	1.5%	2	2.3%	8	1.6%
	印刷	7	1.7%	2	2.3%	9	1.8%
	石油・化学	9	2.2%	1	1.1%	10	2.0%
	窯業・土石	10	2.4%	0	0.0%	10	2.0%
	一般機器	18	4.4%	4	4.5%	22	4.4%
	電気機器	15	3.6%	4	4.5%	19	3.8%
	輸送用機器	23	5.6%	7	8.0%	30	6.0%
	その他製造	38	9.2%	11	12.5%	49	9.8%
	非製造業	235	56.9%	54	61.4%	289	57.7%
	建設	66	16.0%	12	13.6%	78	15.6%
	不動産	10	2.4%	3	3.4%	13	2.6%
	卸売	26	6.3%	14	15.9%	40	8.0%
	小売	37	9.0%	10	11.4%	47	9.4%
	運輸・倉庫	27	6.5%	7	8.0%	34	6.8%
	観光・宿泊	24	5.8%	0	0.0%	24	4.8%
サービス(旅行代理店、情報通信、飲食店含む)	45	10.9%	8	9.1%	53	10.6%	
地場産業	25	6.1%	-	-	25	5.0%	
製材	7	1.7%	-	-	7	1.4%	
真珠養殖	0	0.0%	-	-	0	0.0%	
真珠加工販売	4	1.0%	-	-	4	0.8%	
銑鉄鋳物製造	1	0.2%	-	-	1	0.2%	
萬古焼製造	5	1.2%	-	-	5	1.0%	
萬古焼卸売	8	1.9%	-	-	8	1.6%	
地域別	北勢	175	42.4%	-	-	175	34.9%
	中勢	115	27.8%	-	-	115	23.0%
	南勢	61	14.8%	-	-	61	12.2%
	伊賀	30	7.3%	-	-	30	6.0%
	東紀州	32	7.7%	-	-	32	6.4%
	愛知県	-	-	88	100.0%	88	17.6%

6. その他

○本文中の「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。本調査では、下記の算式で算出している。本調査では、前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を問うている。

$$BSI = \frac{\text{上昇(増加・好転)事業所数} - \text{下降(減少・悪化)事業所数}}{\text{有効回答事業所数}} \times 100$$

○調査対象は「事業所」であるが本文及び図表中では「企業」と表記している。

○年次は西暦表記とし、本文及び図表中では年次を西暦下2桁で表記している。

【調査結果の要旨】

業況感はやや下降、来期は持ち直すも原材料高などが下押し。

【概況】

三重県内の企業の業況判断 BSI は、2021 年度下期は $\Delta 7.5$ とマイナスに転じ、21 年度上期 (+2.0) 及び前回調査の今期見通し ($\Delta 2.7$) を下回った。22 年度上期は +0.7 と、若干のプラス見通しとなった。

業種別にみると、製造業は、今期 9 業種中 4 業種がマイナス、来期は 2 業種がマイナス見通し。非製造業は、今期 7 業種中 6 業種がマイナス、来期は 3 業種がマイナスの見通しとなった。

今期、業況判断 BSI が前期より大幅に低下したのは小売 ($\Delta 51.2$ ポイント)、輸送用機器 ($\Delta 32.5$ ポイント)、一般機器 ($\Delta 27.8$ ポイント) など。世界的な半導体不足やコロナ禍による海外での生産稼働の停滞など、部品供給制約に起因した自動車減産などの影響が大きい。小売は、自動車販売各社で納車遅れによる売上減少の影響が大きく、BSI は今期全業種中最大のマイナス ($\Delta 48.6$) となった (地場産業除く)。輸送用機器は自動車減産の影響だが、低下幅は前回調査時点のほぼ見込み通りで、BSI (+8.7) はプラスを維持。一般機器 ($\Delta 5.6$) は部品供給制約による国内外取引先等各社の稼働停滞、投資見送りなどが影響した。なお、観光・宿泊は、県内客や修学旅行生などの需要が伸びた中、オミクロン株拡大等の影響もみられたが、大きな落ち込みには至っていない ($\Delta 8.3$)。売上高平均はコロナ前の 2019 年を下回るものの来期は徐々に上向き見通し。

来期の業況は、部品不足が徐々に解消に向かい減産の影響が和らぐこと、設備投資の再開、コロナ禍からの需要回復への期待などが上向き要因となるが、部品不足の問題解消には至らないこと、原材料価格の高騰による収益圧迫などが回復の重石になるとみられる。(部品・材料不足の解消時期見通し「22 年度上期まで」は 19.2%。設備投資を実施する企業割合 (投資額 500 万円以上) は、今期 42.6% に低下も来期は 47.4% に上昇見通し。仕入価格の平均上昇率は 25.6%。上昇分の 9 割以上を価格転嫁できている企業は 18.9%。経営上の問題では、「原材料高」を挙げた企業が半年前の 23.3% から 40.9% に大きく上昇。)

BSI	判断	2021 年度 上期 (前期)	2021 年度 下期 (今期)	2022 年度 上期見通し (来期)
業況判断 BSI	今期マイナス、来期はわずかながらプラスに	2.0	$\Delta 7.5$	0.7
大・中堅企業	今期マイナス、来期はプラスに	35.3	$\Delta 4.0$	10.0
中小企業	今期マイナス幅拡大、来期マイナス幅縮小	$\Delta 2.3$	$\Delta 8.0$	$\Delta 0.6$
売上高 BSI	今期わずかなマイナスに、来期はプラスに	8.1	$\Delta 0.5$	2.7
販売数量 BSI	今期マイナスに、来期はマイナス幅縮小	7.9	$\Delta 5.9$	$\Delta 2.5$
在庫量 BSI	今期・来期ともほぼ横ばい	$\Delta 1.0$	$\Delta 1.3$	$\Delta 2.3$
販売価格 BSI	今期・来期ともプラス幅拡大	3.7	13.1	16.5
仕入価格 BSI	今期・来期ともさらに大幅プラスに	45.0	62.4	62.4
採算 BSI	今期・来期ともマイナス幅拡大	$\Delta 3.6$	$\Delta 9.1$	$\Delta 10.3$
資金繰り BSI	今期・来期ともマイナスに	4.3	$\Delta 3.2$	$\Delta 2.5$
設備過不足感	不足感やや強まる	9.0	10.2	—
設備投資実施割合	今期低下、来期は上昇	44.5%	42.6%	47.4%
雇用過不足感	不足感さらに強まる	37.8	50.5	—

(※) 過不足感は「不足」－「過剰」。「不足」は「不足」＋「やや不足」の割合、「過剰」は「過剰」＋「やや過剰」の割合。

1. 業況判断 (自社の属する業種の景気)

業況判断BSIは今期マイナスに転じたが、来期はわずかながらプラスに。

◆全企業

業況判断BSIは、2021年度下期(以下、今期)は $\Delta 7.5$ となりマイナスに転じた。2021年度上期(以下、前期)は $+2.0$ 及び今期見通し($\Delta 2.7$)を下回った。

2022年度上期(以下、来期)は $+0.7$ となり、わずかながらプラスに転じる見通し。

◆業種別 …製造業、非製造業ともに、今期は下降傾向、来期は上昇傾向。

※ 今期BSIのプラス幅の大きい業種順に記載。

◇製造業 …今期($+2.6$)は下降もプラスを維持。来期($+13.1$)はプラス幅拡大。

- 【石油・化学】 今期・来期とも大幅プラスに。顔料、中国向け化成品、ヘア製品など好調。
- 【その他製造】 今期プラスに転じ、来期もプラス。建築金物、物流向け・都市再開発向け鉄骨、イベント向け資材、プラスチック製品、工作機械向けカーなど好調。
- 【窯業・土石】 今期プラスに転じ、来期横ばい。高規格道路工事需要、建材、生コン増。
- 【輸送用機器】 今期プラス幅大幅縮小($+41.2 \rightarrow +8.7$)も、来期はプラス幅拡大($+13.0$)。部品供給不足による自動車減産の影響。トヨタ系では生産回復見込み。フォークリフトなど増加。
- 【電気機器】 今期プラスではほぼ横ばい。来期プラス幅拡大。自動化・生産管理システム、住宅向け配線器具・警報器、部品不足対応で先行発注、自動車関連の復調。
- 【一般機器】 今期マイナスに転じるも、来期はプラス。今期、電子部品の調達難等で生産減も、来期は自動車向け金型・軸受、専用機、省力機械など需要増。
- 【印刷】 今期マイナスに転じ、来期横ばい。
- 【繊維】 今期マイナスに転じ、来期横ばい。
- 【食料品】 今期マイナス幅は製造業の中で最大($\Delta 18.5$)も、来期はプラスに。飲食店、宿泊施設、土産物メーカー向けなど業務用食材の需要回復の遅れ。巣ごもり需要は、一部で一服感もあるが全体として継続、宅配需要など定着。

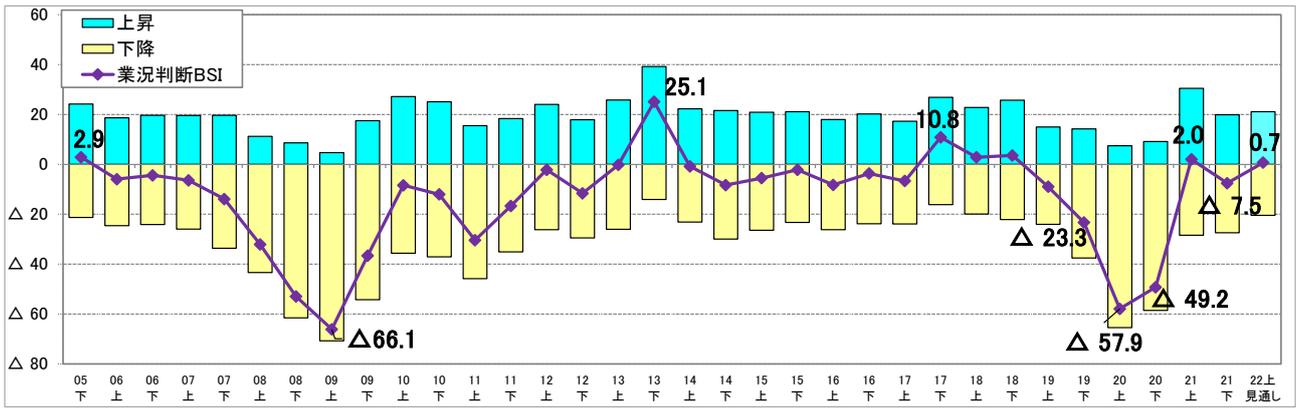
◇非製造業 …今期($\Delta 13.2$)はマイナス幅拡大。来期($\Delta 3.8$)はマイナス幅縮小。

- 【サービス】 今期プラス幅拡大。来期もプラス。ビルメンテナンス(防疫、清掃)、警備、建設コンサル、地質調査、インターネット通信、製造業向けデータ処理等で堅調。
- 【卸売】 今期はマイナス幅やや拡大。来期は 0.0 に改善。
- 【観光・宿泊】 今期マイナスに転じるも、来期はプラスに。今期前半は県内客・修学旅行生の需要増。オミクロン株でキャンセルも。来期は感染状況改善やGo To等見込む。
- 【運輸・倉庫】 今期マイナスに転じる。来期は 0.0 に改善。自動車部品輸送や観光バス減。
- 【建設】 今期マイナス幅拡大。来期は縮小。
- 【不動産】 今期マイナス幅縮小。来期も縮小。
- 【小売】 今期マイナス幅は非製造業の中で最大($\Delta 48.6$)。来期はマイナス幅縮小。スーパーなど食品は堅調。新車販売は、受注好調も部品不足による生産・納品の遅延から減少(中古車は増)。来期は挽回生産見込みも。

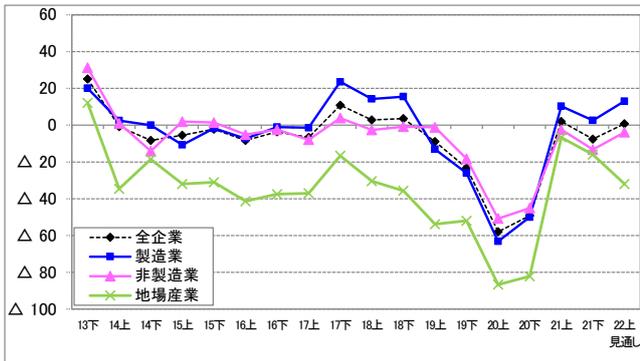
◇地場産業 …今期($\Delta 16.0$)・来期($\Delta 32.0$)ともにマイナス幅拡大。

I. 三重県

■業況判断BSIの推移



■業況判断BSI（業種3区分別）



■業況判断BSI（業種別・企業規模別）の推移

		(前回調査時点)											
		17下	18上	18下	19上	19下	20上	20下	21上	21下 (見通し)	22上 (見通し)		
規模別	全企業	10.8	2.9	3.6	△ 8.9	△ 23.3	△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 2.7	△ 7.5	0.7	
	大・中堅企業	26.2	14.7	6.1	△ 6.3	△ 23.8	△ 66.7	△ 47.2	35.3	11.8	△ 4.0	10.0	
	中小企業	8.2	0.7	3.2	△ 9.3	△ 23.2	△ 56.6	△ 49.5	△ 2.3	△ 4.6	△ 8.0	△ 0.6	
業種別	製造業	23.6	14.3	15.5	△ 13.1	△ 26.0	△ 63.2	△ 50.0	10.3	6.1	2.6	13.1	
	食料品	△ 4.7	△ 7.7	△ 2.7	0.0	△ 24.1	△ 37.8	△ 40.0	△ 21.4	△ 22.2	△ 18.5	11.1	
	繊維	12.5	△ 11.1	11.1	△ 12.5	△ 50.0	△ 87.5	△ 50.0	62.5	25.0	△ 16.7	△ 16.7	
	印刷	△ 10.0	△ 42.9	△ 50.0	△ 10.0	△ 33.3	△ 62.5	△ 88.9	10.0	20.0	△ 14.3	△ 14.3	
	石油・化学	43.8	13.3	35.3	△ 14.3	△ 40.0	△ 64.7	△ 61.5	10.0	10.0	44.4	66.7	
	窯業・土石	0.0	18.8	13.3	△ 7.1	△ 14.3	△ 57.1	△ 38.5	△ 9.1	9.1	10.0	10.0	
	一般機器	47.6	50.0	△ 5.6	△ 40.0	△ 23.8	△ 64.0	△ 71.4	22.2	11.1	△ 5.6	16.7	
	電気機器	50.0	12.5	7.7	△ 6.7	△ 11.8	△ 85.7	△ 37.5	7.1	7.1	6.7	20.0	
	輸送用機器	50.0	22.7	13.3	△ 23.3	△ 39.1	△ 81.5	△ 38.5	41.2	8.8	8.7	13.0	
	その他製造	26.2	25.9	47.6	△ 10.6	△ 20.9	△ 62.5	△ 48.9	△ 6.3	12.5	10.5	7.9	
		大・中堅企業	36.8	23.1	8.8	△ 3.1	△ 38.2	△ 74.2	△ 46.2	50.0	12.5	4.5	18.2
		中小企業	20.3	12.1	17.0	△ 15.2	△ 23.1	△ 61.0	△ 50.7	3.5	5.0	2.3	12.2
		非製造業	3.9	△ 2.6	△ 0.8	△ 1.2	△ 18.3	△ 50.8	△ 45.1	△ 2.4	△ 5.7	△ 13.2	△ 3.8
		建設	13.5	5.1	3.5	1.2	△ 12.5	△ 23.0	△ 34.7	△ 11.1	△ 11.3	△ 16.9	△ 12.3
		不動産	21.4	6.3	0.0	△ 6.7	△ 15.4	△ 54.5	△ 53.8	△ 44.4	△ 22.2	△ 20.0	△ 10.0
	卸売	3.6	3.1	10.3	△ 6.3	△ 18.5	△ 63.3	△ 56.0	△ 4.2	4.2	△ 7.7	0.0	
	小売	△ 21.2	△ 20.6	△ 14.3	△ 2.9	△ 48.5	△ 56.1	△ 21.4	2.6	△ 23.7	△ 48.6	△ 18.9	
	運輸・倉庫	8.0	△ 8.8	8.3	3.7	△ 24.1	△ 76.0	△ 73.3	3.0	△ 3.0	△ 11.1	0.0	
	観光・宿泊	△ 15.8	△ 22.7	△ 13.6	21.4	10.0	△ 100.0	△ 78.3	9.1	0.0	△ 8.3	4.2	
	サービス	7.7	3.8	△ 5.8	△ 8.7	△ 14.9	△ 40.7	△ 39.6	6.0	10.2	15.6	13.3	
	大・中堅企業	11.1	5.6	3.1	△ 6.7	△ 3.6	△ 59.4	△ 48.1	22.2	11.1	△ 10.7	3.6	
	中小企業	2.9	△ 3.9	△ 1.4	△ 0.5	△ 20.2	△ 49.6	△ 44.7	△ 5.4	△ 7.8	△ 13.6	△ 4.9	
	地場産業	△ 16.7	△ 30.4	△ 35.7	△ 53.8	△ 52.0	△ 86.7	△ 82.1	△ 6.7	△ 27.6	△ 16.0	△ 32.0	
	製材	△ 37.5	△ 25.0	0.0	△ 66.7	△ 50.0	△ 57.1	△ 33.3	25.0	12.5	28.6	△ 42.9	
	真珠養殖	100.0	—	—	—	100.0	—	—	△ 100.0	—	—	—	
	真珠加工販売	△ 33.3	0.0	△ 60.0	△ 25.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 50.0	0.0	0.0	
	鋳鉄铸件	33.3	33.3	50.0	0.0	△ 75.0	△ 100.0	△ 100.0	100.0	100.0	△ 100.0	△ 100.0	
	萬古焼製造	0.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 60.0	△ 33.3	△ 100.0	△ 100.0	0.0	△ 33.3	△ 40.0	△ 20.0	
	萬古焼卸売	△ 44.4	△ 83.3	△ 77.8	△ 75.0	△ 75.0	△ 88.9	△ 90.0	△ 36.4	△ 54.5	△ 37.5	△ 37.5	

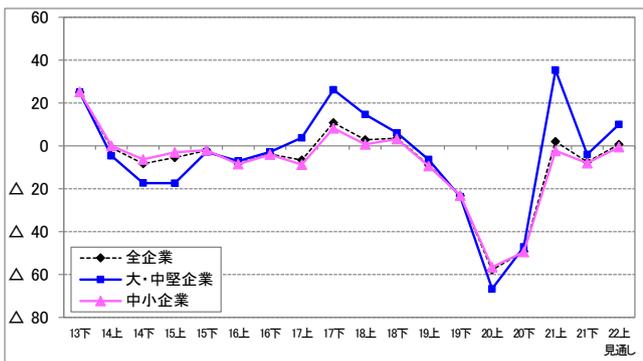
※地場産業と繊維、印刷、石油・化学はサンプル数が少ないため指数の振れに注意する。—は回答がなかったことを示す。

◆企業規模別 …大・中堅企業は今期の落ち込み大きい。製造業は大・中堅、中小ともプラス。

業況判断 BSI を企業規模別にみると、製造業では、大・中堅企業が前期 (+50.0) の大幅プラスから今期 (+4.5) は大きく低下、中小企業 (前期+3.5→+2.3) はほぼ横ばい。いずれも今期プラスを維持し、来期はプラス幅が拡大。

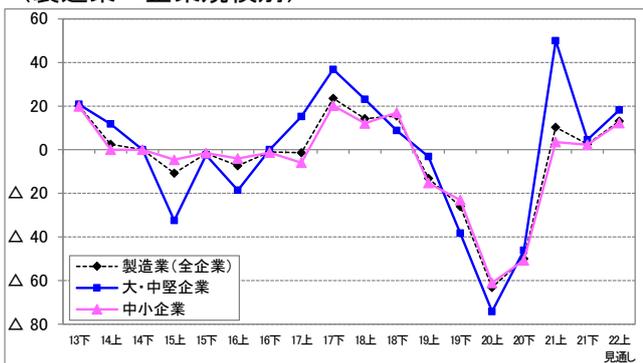
非製造業は、大・中堅企業が今期大きく低下しマイナスに転じた (+22.2→△10.7)。中小企業もマイナス幅が拡大 (△5.4→△13.6)。来期はいずれも上向き、大・中堅企業はプラスに。

■業況判断 B S I (企業規模別)

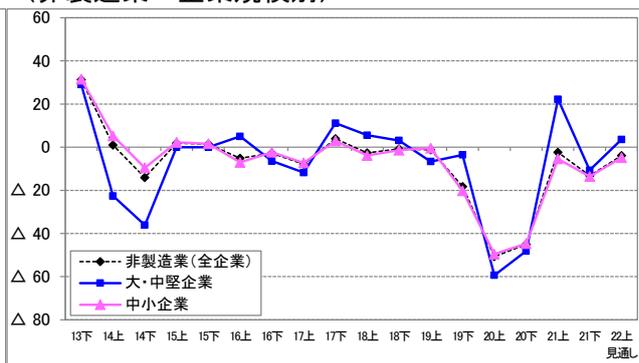


※左図のデータには、地場産業を含む

(製造業・企業規模別)



(非製造業・企業規模別)



◆地域別 …北勢地域、中勢地域は、今期マイナスも来期はプラスに。

業況判断 BSI を地域別にみると、東紀州地域と南勢地域は前期に続き、今期2桁マイナス。来期は、南勢地域はマイナス幅やや縮小、東紀州地域は横ばいの見通し。北勢地域、中勢地域は、今期マイナスも来期はプラスに転じる見通し。

■業況判断 B S I (地域別) の推移

	(前回調査時点)										
	17下	18上	18下	19上	19下	20上	20下	21上	21下 (見通し)	21下	22上 (見通し)
全地域	10.8	2.9	3.6	△ 8.9	△ 23.3	△ 57.9	△ 49.2	2.0	△ 2.7	△ 7.5	0.7
北勢地域	21.1	7.5	8.4	△ 12.0	△ 33.3	△ 63.6	△ 55.8	4.7	△ 2.1	△ 5.7	5.7
中勢地域	3.4	△ 1.6	2.7	△ 6.5	△ 15.9	△ 61.4	△ 42.0	15.5	7.3	△ 6.1	6.1
南勢地域	△ 17.5	△ 1.5	△ 13.5	△ 4.9	△ 11.1	△ 66.2	△ 62.7	△ 16.7	△ 9.2	△ 13.1	△ 4.9
伊賀地域	23.3	11.1	13.3	△ 8.1	△ 21.3	△ 40.4	△ 41.7	△ 5.0	△ 10.3	0.0	△ 16.7
東紀州地域	4.0	△ 11.8	3.1	△ 6.7	△ 14.3	△ 17.6	△ 19.4	△ 11.1	△ 16.7	△ 18.8	△ 18.8